

24 新交通ネットワークの整備推進について

(国土交通省関係)

要望内容

- 1 新交通西風新都線の整備の財源確保
- 2 新交通ネットワークの設備更新に対する財政支援の拡充

(要 旨)

本市では、活力とにぎわいを生み出す基盤づくりとして、利用者の利便性向上の観点に立った公共交通ネットワークの形成に取り組んでおります。

このうち、新交通ネットワークについては、平成 6 年、広域拠点であるひろしま西風新都と都心部を結ぶ約 18.4km のアストラムラインが開業し、平成 27 年には新白島駅が完成したことで、J R 山陽本線との結節が図られたところです。

今後、更なる都心へのアクセス向上や西風新都の都市づくりを推進していくため、アストラムラインの終点となっている広域公園前駅から J R 西広島駅までの間を新交通西風新都線として延伸整備することにしております。この延伸は、J R 山陽本線と一体となり、軌道系の基幹公共交通による循環型ネットワークを形成することによって、都心を含むデルタ地域とひろしま西風新都との結びつけに加え、広島広域都市圏内の各市町との結びつけを深め、ヒト・モノ・カネ・情報の更なる好循環を生み出すものと考えています。現在、都市計画決定や特許取得に向け、関係機関との協議・調整など手続きを進めており、地元説明会の開催も予定しているところです。

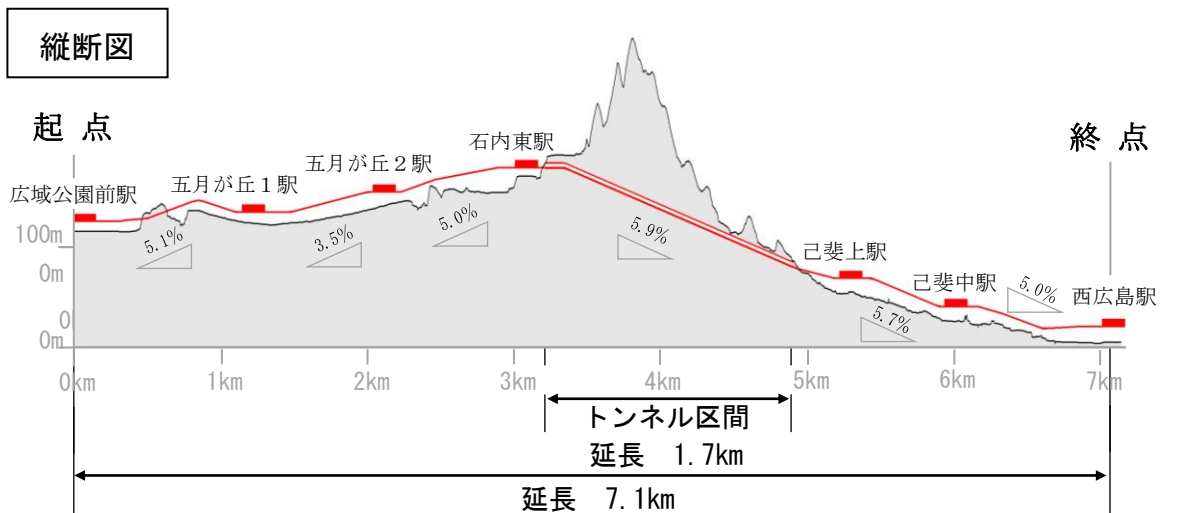
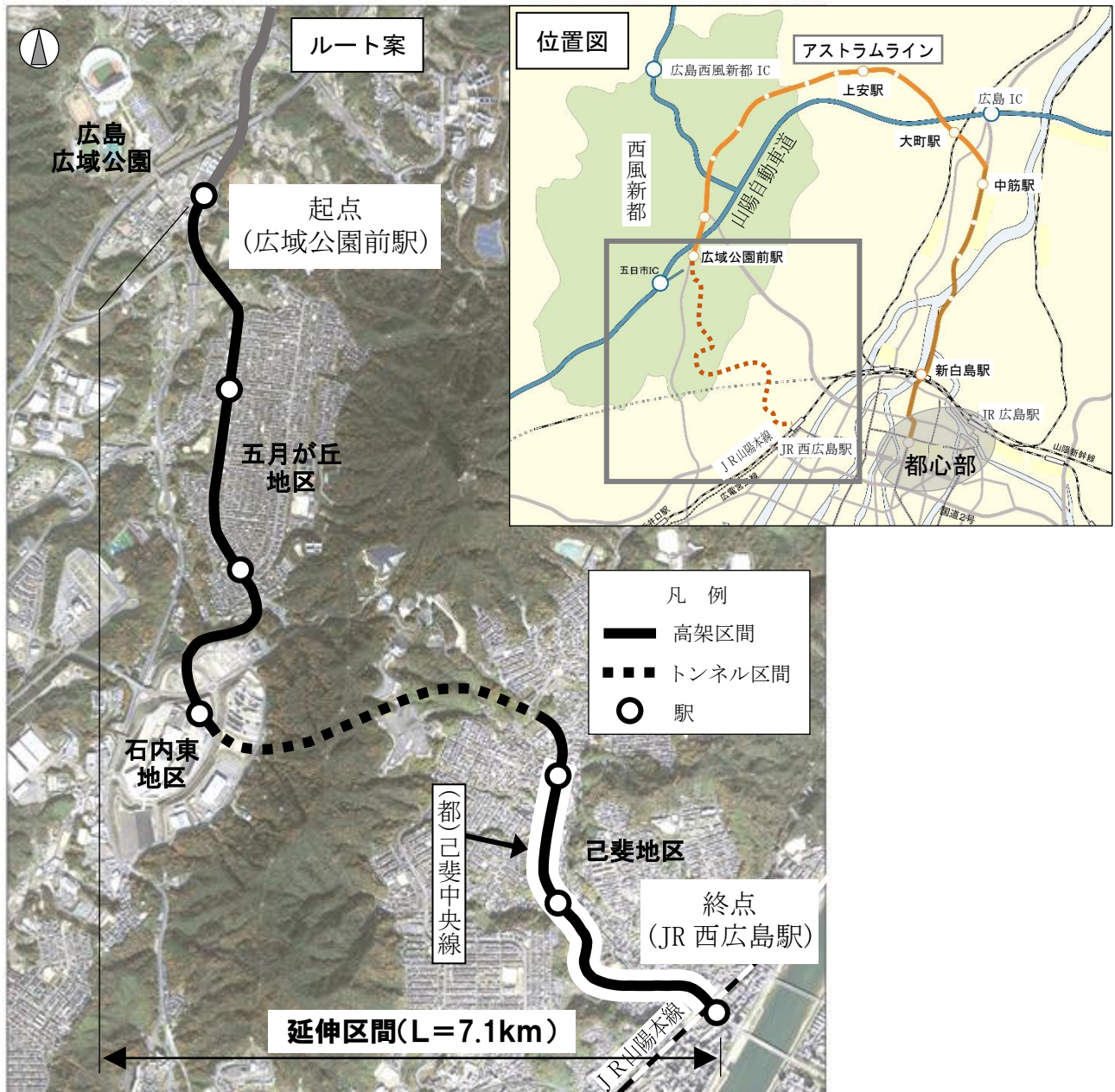
その一方で、アストラムラインは開業から 28 年が経過しており、運行に不可欠な受電設備を始めとする設備等の老朽化が進み、設備機器の更新が本格化しています。

今後、新交通ネットワークの充実・強化を図りつつ、安定的な運行を維持するためには、延伸整備に対する支援に加え、交通事業者の設備更新に対する財政支援の拡充が必要です。

つきましては、新交通西風新都線の整備のための財源確保と新交通ネットワークの設備更新に対する財政支援の拡充について、格別の御配慮をお願いいたします。

(参考)

新交通ネットワークの計画 (新交通西風新都線のルート概略図)



※ 各駅間の勾配は駅間の最急勾配を示している。

※ 駅の名前は全て仮称である。